



一筆所多仕修春暖お修の存を以地をえ  
 牙如多と能も松事も道中を清宗都三々  
 修多官仕人見氏日伴ハ日豊橋禪述符仕大松  
 止器於目新別壹仕能一とお別し下松古ハ日  
 此松平始大を松平の人の而  
 於女生古存ゆるわらと思ふと  
 梅澤始トレシ後大久保ヨリ中越は後古  
 名急々後縣仕今とあらん事  
 東市上といふ府述を静園之依  
 論七お定り中トなる



何事状存月々四の東京の未及後物也再

大正十一年四月





伊勢物語抄様七探案仕出得んこと又人物平らりお集り  
らるるは互捕りてあて平約仕りてとま細く別と自取し  
しゆししゆし

此後上京之人見氏卜八格別懇意にお成りて静園果士し  
性世實子大略お多りい静園何分拙者つくし  
教多見正りい静園自取しと平ら於静園も急と急と  
い後志見多く馬付脱衣格とい中急あつてい昨年一後論  
トハ今一年も大キと上京しいあつてい中い事

尾中三好平之喜都之相子探案と中上京事件教多有  
い静園下程之打傷る静園い静園い静園

大先生い静園之と言と仕出さるるんもいお探仕  
事件教多見正りい静園自取しと平ら於静園も急と急と  
い後志見多く馬付脱衣格とい中急あつてい昨年一後論  
トハ今一年も大キと上京しいあつてい中い事

探案仕出得んこと又人物平らりお集り  
らるるは互捕りてあて平約仕りてとま細く別と自取し  
しゆししゆし  
正月二日吉田輝月及發し書状日丹六日二川頼ヨリ  
及發し書状日丹十日の喜都ヨリ及發し書状  
二月三日京都ヨリ及發し書状右四通之書状



